

平成 25 年 6 月 5 日

お客様各位

株式会社 山喜農園
新潟県魚沼市原 1280-1
TEL. 025-794-2455
FAX. 025-794-4168
E-mail: info@yamaki-noen.co.jp
HP Address. http://www.yamaki-noen.co.jp

球根情勢報告

5 月期オランダ出張報告社内会議用レポート風

平素よりお引き立ていただき誠にありがとうございます。

5 月 22 日～5 月 28 日まで、オランダに出張してまいりました。

つい先日出張前に書いたレポートを送付したばかりで、またお手元に着いていない方もおられるかも知れません。出張前と出張後、まだ 2 週間ほどしか過ぎておりませんが、ご報告いたします。(為替が 2～3 円動くたびにドボキしています。無駄なエネルギーの消費かもしれません…)

タイトルにおかしなことを書いておきました。

いつも乱文乱筆ですが、今回はさらに荒れた文章になると思います。お付き合いいただければ幸いです。

オランダ出張は、年に 4 回行っております。

5 月期・6 月期・9 月期・12 月期。

弊社課長(森山保/3 人兄弟の 3 番目/S44 年生まれ)が 3 月に転んで、足の骨を骨折!

6 月期出張…。

2002 年より毎年(前半は津南の方々に同行し…)『TYS』=『津南雪美人スペシャル』のオランダ開発の為に出張していました。

その後 6 月の圃場調査の重要性・新品種開発には最も重要なポイントであることに気づき、昨年まで毎年 6 月期調査を行ってまいりました。

弟の事故を踏まえ、『今年は俺か、部長(森山勉/2 番目の弟/S41 年生まれ)が試験栽培の管理をしなくては…』と考え、出張を取りやめました。

結果的に、課長はまずまず順調に回復し、従業員には、課長不在期間中に、初めて『水管理』を行ってもらい、順調に生育しております。

現在は、再び課長灌水管理制となり、始めての新温室での試験栽培ですが、まずまず上手くいっている様子です。(出来は良い。)

当社試験温室の開花予測は、

L.Aピーク 6 月 8 日(土)～12 日(水)。17 日くらいには、ほとんど無くなる。

O.Tピーク 6 月 18 日(火)～23 日(日)。30 日くらいには、ほとんど無くなる。

O.Hピーク 6 月 23 日(日)～29 日(土) 7 月 7 日くらいには、ほとんど無くなる。

早くなってしまう
いました。
すいません。

11 年間続けていた 6 月期オランダ訪問は、今回は中止にしてしまいました。『あ～やっぱり行けばよかった。』という話です。

それらを踏まえて、今回5月の出張です。

1986年以来、5月期のオランダ出張は必ず2人以上で出張していました。(最初は父親/先代社長)や叔父と一緒にでしたが…。

今回27年振り(私現在S40年生まれ48歳)に、1人でオランダに行ってきました。

久しぶりに1人も良いものです。オランダ人には、「TAKASHIがメモを取っている。何十年振りに見た！」とビックリされました。来年は写真も撮ってこなくちゃなあ…と考えています。(20年以上オランダで写真撮っていません…)

まずは、生育状況。

6月に来ない訳ですから、しっかり見なくてははいけません。

2年連続リンパソ栽培 2年目

Plamvの拡散が最も少なくなるであろうこの栽培方法が急速に普及しています。

昨年と違い、球根の定植が遅れるくらい天候は荒れておりましたが、遅露の害は少なかった様です。

14年産開花球生産用のこの養成球圃場には、相当な量がありそう。「あーまた面積が増えるなあ」と思ってしまうくらい。

すこぶる順調に生育していました。まるで2年前に見たサッパルグス社(C.H)の畑の様にきれいでした。寒いのにすごいなあ～。

2年連続栽培開花球生産圃場(2N/2L/TLS)

例年の5月期出張時に見る生育ステージの35%くらいしか進んでいませんでした。(草丈。)

輸出業社/球根農家は、約2~3週間の遅れと話していましたが、雪国魚沼地方の人間にとって、4月特に5月が寒い・日が差さない(だから遅露が無い…)・気温が上がらない事の怖ろしさ、O.H系の**作の遅れ**の怖ろしさは、オランダ人の感覚とは違って受け止めてしまいます。

それでも2Nはまだマシです。

例年通り～やや遅めの蓄取りとなるのではないかと思います。

春植え開花球生産圃場(EVR/NES/VOF/TYS/MAK/JWSelect/標準無印球 etc.)

生まれて初めて見ました！(4才から百合の畑で育った人間のつもりです。)

草丈が、10~20cmに育っていながら、葉の展葉が始まっておらず、しかも茎も展葉前の葉もまだ**黄色く**、全く緑の色が着いていないのです。

(V.Z社、南オランダ地区・ブラボントエリア)

(W.B社、北オランダ地区・アンホーワエリア) 両地域ともです。

『40日間、冷蔵庫に入りっぱなし、プレリーティング状態』『根が伸びていない』でどうやって太るんだ…。どうやって力を付けるんだ…。ショックな遅れでした。

掘ってみても上根がまだほとんど出ていない状態です。(例年より植付けやや遅い。)もうすぐ夏になるのに…。

低温にも高温にも強いO.T/L.Aはまだよいのです。問題は、O.H…。

『球太るの…?』の質問には、『新潟の調子はどうだい?』

返事はありませんでした。(ちなみに新潟は、ここ3~4年間では最高のスタートを切っています。)

向こう1ヶ月以内に気温上昇が無ければ、O.Hは?。

むこう1ヶ月以内に気温上昇が起きれば、例えばそれが30℃以上の日が1週間~10日続くとチューリップは、肥大不足となる…。

作の遅れは、どちらに転んでも球根農家にとっては痛手。

5月29日～6月4日の気温は相変わらず低いものの、日差しはすごく強くなってきたそうです。チューリップは順調に肥大中との事です。(輸出業社からの聞き取り。)

全部で12枚の畑しか見ていません。(これは毎年の5月にも見ていました。比較できています。)

ラウンドでO.H系の生産が盛んになってから以降では、最も寒い春だったという事の様です。(彼らも経験が無い!)

6月に出張しない分、9月上旬の出張作況確認が重要になりそうです。

育種業社温室/輸出業社温室

寒かったので開花が遅れておりました。

むしろ28日スタート～6月にかけてのくらいの出張計画のほうが良かったかなあと思うくらいの開花の遅れでした。

景気が悪い様で、輸出業者は経費削減の為燃料を使わず、結果的に『リレイズ』開催期間に間に合ったのは1社くらいしかいませんでした。間に合わせる為に「蒸気消毒費込みで42,000EUROも使った。」育種会社や一部の輸出業社は、「せっかく見に来てくれているのに…」と世界の輸入業者・切花農家などと共に、このイベントに参加した人たちが結構ぶつぶつと、遅れている会社に文句を言っていました。しょうがないですけどね…。(うちもドキドキですから!)

22日のラウンド時間午後4時くらいから、28日午前11時30分の間、視察調査を行いました。久しぶりのヒット商品になる可能性がある品種が、複数の育種会社から発表になっていたと思います。

Vletter 社

白のO.Tが注目されていました。(当社隔離栽培温室にて開花予定20日頃から。)

私は個人的に丈の伸びないO.Tに注目していました。(赤/白/ピンク)

ピンク・赤のO.H系で10年ぶりくらいのヒット商品が生まれる予感がします。

やはり『スゴイ』と思いました。(とりあえず、スターティングマテリアルも0%×8種類バリエーションとの事…。)

白にも良さそうなのがあったなあ～。

V.Z 社

白のO.Tが注目されていました。(当社隔離栽培温室にて、昨年調査された品種でした。今年も国産球として20日頃から開花予定です。)

さらにその次の世代の白のO.Tも本年当社隔離温室にて、20日頃から開花予定です。

*Vletter社白O.T/V.Z社白O.T、両方ともMarklily社アーリー・タツ氏(現在Vletter社の社員)の子孫です。

*本年の当社国産球O.T試験にはアーリー氏がMarklily時代に発表した最後の白O.Tが咲きます。

それらの方が子孫よりも良さそうですよ！(昨年の隔離栽培圃場で見ると限りは…。色の白さ加減は、Vletter/V.Zの方が白い。けれど作業性が…。)

*Marklily品種の問題は、増殖して生産に乗るか乗らないか？そこがポイントなのです。

*ピンクアップ・ミスト・イエローストライク・ジルコニア・シャインなどの有望と思われる品種が尽くPlamv問題とのかかわりが懸念されているところが怖いのです。(皆さん、知っていますよね？改善していると聞いてますか?)

V.Z社はこの他、白O.H・赤O.H・早生O.H・黄赤L.Aなど、日本とアジア、そしてちょっとびっくりですが明らかにラウンドの切花生産者を意識した育種と新品種発表を行っています。

会社自身は大きなリストで揺れている様ですが、(スカンジナビア/南アメリカ市場撤退)ラウンドだけでなく、南半球やフランスに大きな球根生産基地を有するこの会社の育種は、極めて明快で、方向性もはっきりしていました。

MAK 社

荒川の近藤氏・弊社課長の栽培経験上、白オシエンタル系の品種の中で『植物』として最も強い品種が『ブ

ミアムボルト』だそうです。＝商品としてではありませんよ！念の為。花も綺麗ですね！夏には横向きそうですが…。

ビショフ社と MAK 社の両方の血を引く育種を行っていますから、この会社から出てくる白刈エンタムは、常に注目しています。2 品種くらい良さそうなのがあります。Vletter 社がオブラカを発表して 30 年強時間が経過しているのに、本当の意味でのヒット商品が無い事からも分かる様に、(シプロン・リアル・サンダー…) 白って凄く難しい色なのだなあと思います。(シバリアの跡継ぎ、何になるのでしょうか？)

テブルダンスとザンバジの様な、花はキレイじゃないけど、生産性でこの品種を超えそうな白 O.T がほかの会社の新品種にあった様には見えませんでした。(作業性。) ザンバジは、シバリア O.T バージョン見たいですなあ～。

最初の発表となったこの『次世代 O.T』2 品種を超えなければいけない MAK 社の O.T は、目標値が高すぎて大変だと思いました。

D. J 社

レッドツインシリーズが発表されていました。

黄、オレンジ、やや花形が違うものなど、面白そうな品種がありました。

従来 L.A/透かし百合を注目して見ていましたが、**O.H 系にも小球多花性早生種が多く発表されており**、いよいよ D.J 社の O.H 系も商品ライン UP の中に組み込める時期が来つつある様です。

問題は南半球に、この会社の育成種を安定的に作ってくれる球根農家が今はまだいない事です。(O.H/L.A ともに)

*『C.H の球根農家はそれぞれ、いったいどの育種会社とタイアップしていくのかなあ?』←出張期間中大きな話題の一つでした。

WorldBreeding 社

たぶん今回の No.1 L.A はこの会社の 4~5 品種なのではないかと思います。

オランダ全育種会社共通に、とにかく日本向けの育種、そして日本向けの品種の球根栽培ライセンス販売がきわめて不調なのだそうで、育種家の方向性も球根農家の新規ライセンス取得の方向性も、今までとは状況がかなり違ってきます。

『なんでこんなに素晴らしい品種が埋もれてしまうのか?』という不安に駆られています。(ここ数年そんな状況が続いています。)

取扱球数が大きいはずの球根会社ですら、『ニッチな開発』に遅れば、結果的に扱えるものが無くなる。そんな恐怖感を持っています。(3~5ha 単位の球根生産ライセンス販売に移行している? 12ha 超えたらもう球根価格生産原価維持できない?)

そんな中で、日本向け草姿・花色・花の大きさの L.A を見た時には、『R.トリシティ以来』15 年以上注目していなかったこの会社の L.A にまた目を向ける時が来たのかなあと感じました。

O.H 系もオブラカ・セナドナ・アイスサンダーを作出している会社ですので、白は良さそうです。(カステラニ・シバリア。) **輪付きが良さそうな品種が多いのも良いなあと感じました。(ちょっと到花日数が長いけど。)**

O.T は、イエローウィン・コンフ・グールウィン・アマロツ (マスカットのほうが良い) アボカドなど、他の育種会社が目指す O.T 育種の方向性とは違う方向を見ている様に見えるこの会社から、案外 O.T のソボンヌが出てくる様な気がしてなりません。

*** それらの品種は、当社隔離栽培温室に全て定植されています。**6 月 18 日くらいが見頃となる予定。

まだ 5 年 10 年 20 年、先のことを考えたい百合切花農家の皆様は、百合の育種の方向性を見る上では、極めて重要度の高い展示となっていると思います。ぜひお越しください。

ご自身の目でご確認ください。

アプリコットオレンジの『テラール』は、コロバードとは違った消費を生み出すような気がします。(東日本花市場担当のお気に入りだって!)

GAV 社

ここは、輸出業社なんですが、結構本気の育種をやっています。O.H 系ポット用は、たぶん世界シェアを握れるくらいのポテンシャルがあるように見えます。(八重はありませんが…)

A.H 系ポットも、タ仁-シリーズやマトリックス系を完全に超えた安定性を発揮するよう見えます。

これもったいなさ過ぎ！日本でもだれかやらないかなあ？

O.H 系切花用は、やはりイタリア/イギリス向きみたい…。その中から使えそうな品種を拾い上げたいです。

輸出業社温室

間に合わなかった会社には文句を言いたい。(大きい声では言えない…)

間に合った会社には感謝したい。

ホーキング社の温室に通算 6 時間半も居たのは、今回が初めて。(いつもはせいぜい 3 時間くらい。) 同一育種会社の温室に、2 回も 3 回も行かなければならなかった事もほぼ初めてです。

Marel 社 Original 社は、一方は咲いていない、もう一方は目新しさがありませんでした。但し両社ともに品質は良かったです。(ここでも白 O.T 種で注目に値する品種が 5~10 系統も試験されています。ハッポロとの交配?)

『ヨブ』は、ソルボヌの色の濃い品種ではなくて、ランチャを綺麗にした感じでした。きっと『夏』には良く出来ると思います…。ごめんなさい！！

Plamv の当年感染・当年発症と思われる症状を初めて見ました。衝撃的でした。

J.W 社だけ一線を引いた動き

J.W 社は、相変わらず『石頭』の頑固な会社です。(褒め言葉です。) バイラス展示ベットを作っていたことは感動的です。(ちょっと大げさな表現です。)

『それ』を分けられるという事でしょう。

二種混合バイラス・三種混合バイラス、その症状をすべて解説できることに感心しました。(これは本当。) 品質は良くなっています。(但し品種が限定されてしまう。)

『J.W セクト』は、基本的に『やや早掘』。機械的に低温を扱っているように見えます。(その生育スピードと葉枚数の少なさから判断。) シベリア・ソルボヌ・マロン。少なくともこれらの品種は、2 年連続でそういう結果でした。促成作型でその特徴が生かせる反面抑制は限定的？ゴメンナサイ！

*ところでシベリア VOF は…、12 月/1 月切り用に 18/20 サイズを使用するのがベターと考えます。それ以外の作型は…。

13 年産オランダ産百合球根流通状況と今後の予測

*こんなに球根が高価になる年なのに…そうではないと思っています！！元に戻るだけでしょ！！

ここまでの所の動きは…

O.H/O.T 系の動き

オランダ開花球—流通数大きく減少。予定通りだと思います。
当社の場合扱う球根農家はたったの 4 軒のみ…。

オランダ養成球—確保しました。2 軒の農家からしか買えないです…。

コンデイン別球根 (TL, 2L, VOF, 2N, MAK, etc.) —確保しました。

上記品目は、すごいスピードで受注が進んでいます。ありがとうございます

350EURO 以上の高価球根 (新品種・準新品種) 18/20 サイズ 価格標準。

勇気を振り絞って思いっきり、可能な限り買いました。(私、小心者です。)

Plamv から完全に逃げ切れるとは言いませんが、リスクは少なそうです。

これらの価格帯品目についてもすごいスピードで受注が進んでいます。

ビックリしています。戸惑っています。切花価格低迷しているのに…。一体何が起きているのか？自

分でも理解できないでいます。

皆さんも私と同じように『勇気を振り絞って買っている』のでしょうか？

『お金は払わなければいけません。』大丈夫ですか？慎重に行きましょう！

Vletter 新品種

仕入作業が大混乱しています。まだ落ち着いていません。『指標とする価格』を送付しておりますが、**当社仕入価格は毎日のように輸出業社の動きに振り回されています。**

正確性に欠ける情報を流してしまって申し訳ありません。

もう少し待ってください。(それにしても輸出業者毎に 50EURO の価格差が付くとは…95 年を思い出します。)

300~350EURO 価格帯 18/20 サイズ 価格標準。

Plamv を心配しながらの仕入です。球根農家の名前をチェックしながらの仕入です。(輸出業社名より圧倒的に重要。) そうでなければ恐ろしくて買えません。

特に、マロ・ストラッカー、実はマロン・フェスでも…、自分が何を買って売っているのかちゃんと理解しないとダメ！

こちらの価格帯も良く動いています。

200~250EURO/250~300EURO 価格帯

今のところ、コンディションを分けた球根に注文が集中しています。極めて活発に動いています。(実績と安心感かな！)

*堀之内や深谷の様に、数十人の生産者が年間に 5~10 回に分けて同一ロットを定植し、何年間にも亘って実績を積み上げていく…。前年にベストロットが翌年には駄目ロットになってしまうという事を繰り返しながら作り上げていく。単年度ベースでの比較試験では、出来上がるモノではありません。(MAK でも 8~15% バイアス出た年があるのです。)

HLCTL の復活を見ててください。(12 年産で既に良い?)

一部標準球も動いていますが、球根市場価格の先行きが読めません。

この価格帯の球根は、Plamv 関連ロットが多く存在する価格帯でもあるのです。よくよく見極めての仕入作業を進めます。

『指標とする価格表』には、当社仕入価格を入れてありますが、価格がどう転ぶか分からない品種群となります。

ある意味最も慎重に仕入を進めるところでもあるのです。

販売価格については、ある程度お任せ頂ければありがたいなあと感じています。

(ソルボン NES・シパリア EVR・多くの L.A は、任せて頂いた方が…。国内流通価格の差だけでは、品質/価値の判断が付きにくくなるような気がします。これは全ての輸入業社共通の悩みなのではないでしょうか?)

鉄砲百合の動き

S.T 社系は、相変わらず順調です。

今年は、栽培初期が寒いですので、実績のある品種・大きめのサイズで攻めましょう。

今から欠品が怖いです。

各社から発表されている上向き鉄砲百合…。まずは輪付きと到花日数調査してください。

A. H/L. A 系の動き

日本は円安 10%? 15%? 20%?。各社の 12 年産適応レートと 13 年産適応レートで違いますよね！

日本以上の大きな消費国に育ってしまったメキシコは、ユーロに対して 20% 近くの高値！

私たちにとっては、手を出すのが不可能に近いと思われる 140～145EURO クラスの球根が『楽勝』に買えるのだそうです。参りました…。

丁度 20 年以上前、『スペイン・ポルトガル・ドイツ・スペイン』当たりの国が「日本が払い過ぎるから、俺たちが買えない。」と言っていたことを思い出してしまいました。

幸いオランダ以外の国は、オランダを含めて、やはり日本同様「高価くて買えない！」という雰囲気の様です。(ちなみにオランダは、6～7 千万球の L.A を使い、主要品種はトウエン・トザン・パピア・ナチュベル等です。オランダに 140～145EURO も払えるのかなあ～。パピアやナチュベルの方が安いけど…)

出来るところを見極めて進めていこうと考えています。(今は動けていません…)

『指標とする価格表』の当社仕入価格は、A.H/L.A の場合、まだほとんど決まっていなとお考えください。

ある程度、仕入のタイミングを任せて頂けるとありがたいです。(注文先行して頂くと助かります。)

*安い O.H 系の中には、日本向けの花色/品種が多いです。(球根品質は下がる。栽培面積は将来どうなる?)

*本当に日本に必要なと思う品種は下げ過ぎてはいけません。(今や簡単に球根生産停止しますからね!)

*『バランスを考えながら』⇒これが重要でしょう!

*コンディション別販売って『球根を高価く売る為』だと思う人がいる様ですが、『良い球根農家を相場の乱降下から守る』『良い切花農家を相場の乱降下から守る』

時間前/相対取引みたいですよ?

『相場と球根価格』だけで商売は成立しないのが球根取引だという事が、12/13 年産しばらくこの状況が続くと思います。

共選に『顔を作る』共選に『表情を浮かべる』を 13 年産の重要営業ポイントに置いていこうと考えています。

個選切花農家のスピードや決断力・実行力に後れを取らない様に頑張ってほしい!!

大変長いポイントとなりました。

最後まで読んでいただいた方には、ありがとうございました。

FAX 用紙を無駄にされた方には、申し訳ございませんでした。

よろしくお願ひ致します。

詳細はお問い合わせください。

森山 隆



<http://www.lily-promotion.jp/>

私共はLilyの趣旨に賛同し
協力・応援しています